

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------------------------|---|---|-------|--|----|------|------|-----|-----|
| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | | | | | |
| 専門学校ビーマックス | 平成1年3月10日 | 武田 結幸 | 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町5-18 (電話) 086-256-7610 | | | | | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | | | | | |
| 学校法人武田学園 | 昭和56年2月5日 | 武田 結幸 | 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町5-18 (電話) 086-256-7610 | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | エアライン学科 | 平成30年文部科学省 認定 | - | | | | | | | |
| 学科の目的 | 航空業界に関する専門知識及び技術、英語や中国語などの外国語の学びを通じた国際感覚の育成、また接客に携わる者の基本であるホスピタリティーの精神を修得する。 | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 令和4年3月25日 | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | |
| | 2年 昼間 | | 1843時間 | 710時間 | 993時間 | 140時間 | 0 | 0 | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | |
| 40人 | 24人 | 0人 | 3人 | 0人 | 3人 | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月31日 ■後期:10月1日～3月31日 | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率80%以上で、単位認定試験あるいは出席点や提出物などを得点化し、S・A・B・C・Dの5段階評価とする。 進級:1年次の単位不認定累計数が、12単位以内であること。 | | | | | | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日～4月2日 ■夏季:7月30日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月9日 ■学年末:2月25日～3月31日 | | 卒業・進級 条件 | 卒業:1710時間以上を履修し、累計卒業取得単位数を取得していること。かつ、学科で定める卒業必須取得資格をすべて取得していること。 | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 習熟度に応じた講義を実施、必要に応じて補講も行う。担任以外の教員ともいつでも面談・面接練習も可能。入学前から保護者を交えた面談も行う。 | | 課外活動 | ■課外活動の種類 学生会、ボランティア・社会貢献活動、スポーツ大会や学園祭等の実行委員会、県外研修 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | | | | | |
| 就職等の 状況※2 | ■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 航空業界:四国航空株式会社、高松商運株式会社、航空協力事業株式会社 ホテル業界:ANAクラウンプラザホテル岡山、ヒルトン広島、ヒルトン沖縄瀬底リゾート | | 主な学修成果 (資格・検定等) ※3 | 資格・検定名 | | | 種別 | 受験者数 | 合格者数 | | |
| | ■就職指導内容 学科教員とキャリア支援センターが連携し、学生の業界・企業研究をサポート、求人企業とのマッチングを図る。また、就職試験対策として、履歴書の添削や教養試験対策、面接練習などを行う。 | | | アマデウスシステム検 定 初級 | | | ③ | 13人 | 9人 | | |
| | ■卒業者数 | | | 13 | 人 | MOS Excel2016 | | | ③ | 13人 | 5人 |
| | ■就職希望者数 | | | 13 | 人 | マナー・プロトコル検定 3級 | | | ③ | 13人 | 13人 |
| ■就職者数 | | 13 | 人 | ビジネス能力検定ジョブパ ス 3級 | | | ③ | 13人 | 13人 | | |
| ■就職率 | | 100 | % | サービス介助士 | | | ③ | 13人 | 13人 | | |
| ■卒業者に占める就職者の割合 | | : | | 100 | % | ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 | | | | | |
| ■その他 | | (令和 3 年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | | | | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 1名 ■中退率 3% | | 令和3年4月1日時点において、在学者30名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者29名(令和4年3月31日卒業生を含む) | | | | | | | | |
| | ■中途退学の主な理由 学習意欲の低下 | | ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制を導入し、学生とのコミュニケーションを積極的に図り、個人面談を随時実施している。授業の出席状況や受講態度、成績などから心配される場合は、教員全体で共有し、保護者にも連絡、ご家庭でのサポートも依頼する。希望に応じて、転科も実施する。 | | | | | | | | |
| 経済的支援 制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(入学時・進級時)、英語特待生制度、ウェーブハウス奨学金制度 他 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 | | | | | | | | | | |
| 第三者による 学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) | | | | | | | | | | |
| 当該学科の ホームページ URL | https://www.be-max.ac.jp/airline/ | | | | | | | | | | |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度中に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況 3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。